

事務事業評価シート

(H.28)No.	1042	(H.27)No.	1042
-----------	------	-----------	------

事務事業名	生きがい活動支援通所事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	医療福祉総務室	田中 克広	

会計区分	事業コード	143501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	生きがい活動支援通所事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	生きがい活動支援通所事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本施策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
	小施策	3	保健福祉サービスの充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
高齢者等の家での閉じこもりや要介護状態になることの予防を図る。
事業内容
浴湯・リハビリ機器・カラオケ・茶室大広間等を利用し、生きがい活動や趣味活動を促進する講座等の開設。平成21年7月より利用料200円/日を徴収。月曜日から金曜日は福祉バスを無料運行。社会福祉協議会と指定管理協定(平成26年4月1日～平成31年3月31日)

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	浴湯・リハビリ機器・カラオケ・茶室・大広間等を利用し、生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。 ・老人福祉センターふれあい指定管理料: 30,894千円	生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。	生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。	生きがい活動・趣味活動を促進する講座等を開設。月～金曜日は福祉バスを無料運行。

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	31,369千円	27,456千円	27,456千円	27,456千円	27,456千円
内訳(千円)	国・県支出金				
	地方債				
	その他()				
	一般財源	(0) 31,369	27,456	27,456	27,456
人工数	職員	0.04人	0.07人	0.07人	0.07人
	臨時職員等				
②概算人件費	(0千円) 304千円	532千円	532千円	532千円	532千円
①+②総事業費	(0千円) 31,673千円	27,988千円	27,988千円	27,988千円	27,988千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
高齢者福祉サービス(介護保険外市独自サービス)として、健康な高齢者の在宅生活の継続に寄与している。	引き続き委託を行い、委託先との連携により、対象者に対し適切なサービスに努める。一般貸切旅客自動車運送事業の新運賃・料金制度の適用により、バス運行に係る費用が高騰したため、平成27年度は事業費が大幅増となったが、利用者への影響が大きくなるような形でバス運行に係る費用削減の検討を行った。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	高齢者の保健福祉サービスの一翼を担っている。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	名張市社会福祉協議会を指定管理者とすることで、民間活力を生かすとともに地域福祉増進のための連携を図っている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
事業の実施方法や市の負担については今後検討していくが、高齢者の閉じこもりや要介護状態になることを防ぐためにも事業を継続する必要がある。	